

プロジェクト名：千葉県君津市沿岸における鉄鋼スラグを用いた地盤改良技術による海藻藻場造成（日本製鉄株式会社、千葉県漁業協同組合連合会、君津市）

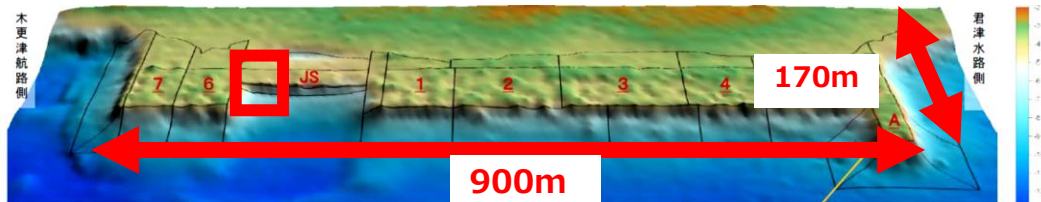
◆プロジェクト概要

水深約10mで砂地であった東日本製鉄所君津地区西護岸（君津市）沖の対象海域に、2011年に日鉄社製の鉄鋼スラグによる地盤改良技術（カルシア改質土）と鉄鋼スラグ人工石（ビバリー® ロック）を用いた浅場造成を実施し、ワカメを移植しました。また、2011年以降は、毎年浅場造成を継続し、2023年8月までに合計6.66haの浅場を造成しました（図1）。

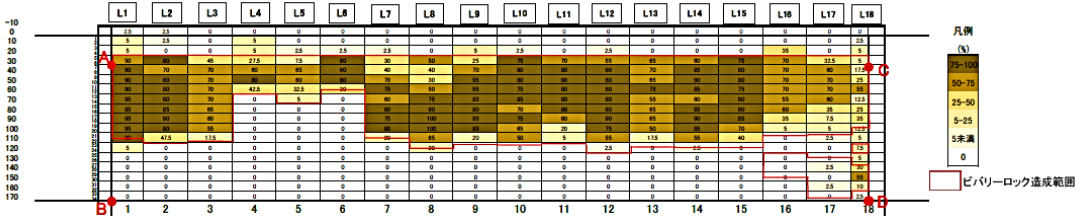
2023年4月に浅場全体の潜水調査を行った結果、最初に移植したワカメを核藻場として、造成された浅場のうち、4.73haのワカメ藻場が造成されたことを確認し（図2、図3）、ワカメ藻場による12.6t- CO₂の二酸化炭素吸収が認証されました。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

本プロジェクトは、企業・漁連・市町村がブルーカーボン創生に共同で取り組んだ全国初の事例です。千葉県漁連による藻場造成に向けた周辺海域の漁協に対する指導や施工支援活動、環境グリーン都市（ゼロカーボンシティ）宣言を行った君津市のカーボンニュートラルに向けた取り組み、日本製鉄の10年以上にわたる浅場造成の取り組み、の共同成果として、ワカメ藻場の造成ができました。今回の結果を受け、今後もモニタリング活動や藻場造成を継続していきます。



←図1.
2011年の海底地形図。
四角枠は2011年ワカメ移植場所。



←図2.
2023年4月のワカメ藻場被度調査結果。、1メッシュは10m×50m。

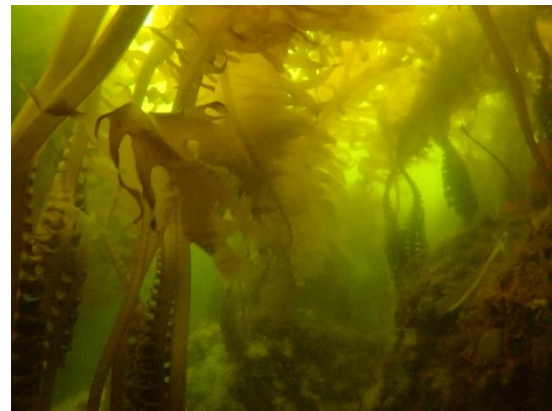


図3. 2023年春に撮影したワカメ藻場の様子。